

船舶事故調査報告書

平成21年11月19日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員長 後藤昇弘
 委員 楠木行雄
 委員 横山鐵男（部会長）
 委員 山本哲也
 委員 根本美奈

事故種類	操船者死亡
発生日時	不明（平成21年2月17日06時25分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（宮城県石巻市田代島二鬼城崎灯台の南西方400m付近（概位 北緯38°18.6′ 東経141°24.8′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年2月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操船者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第五十八 ^{かつ} 勝丸、1.1トン MG3-50496（漁船登録番号）、個人所有 7.52m×2.06m×0.77m、FRP ガソリン機関（船外機）、110kW（漁船法馬力数）、平成14年10月23日
乗組員等に関する情報	操船者 男性 63歳
死傷者等	死亡 1人（操船者）
損傷	全損
事故の経過	本船は、平成21年2月16日午前（09時以降）、操船者1人が乗り組み、たこつぼ漁のため宮城県小網倉漁港を出港した。当時は風が強く、他に出港した漁船はなく、本船の出港を目撃した者はいなかった。 操船者は通常14時ごろ帰港していたが、19時00分ごろ家族から所属漁業協同組合に帰港しない旨の連絡があり、石巻海上保安署に通報がなされ、捜索が開始された。 捜索の結果、翌17日06時25分ごろ石巻市田代島北方において転覆した本船が発見され、船体は岩場に打ち付けられたように激しく損傷していた。07時15分ごろ本船発見場所付近の海岸で操船者の名前が書かれた救命胴衣などの漂流物が発見され、その後、同場所付近の海底で操船者の財布が発見されたが、操船者は行方不明となった。 平成21年7月16日、本船発見場所の東方3.2海里付近の岩場において遺体が発見され、操船者と確認された。
気象・海象	2月16日12時00分ごろ 気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 8.6m/s、気温 1.8℃ 海象：波向 南南東、有義波高 約0.8m

	<p>2月16日16時00分ごろ</p> <p>気象：天気 曇り、風向 西北西、風速 10.8m/s、気温 -1.8℃</p> <p>海象：波向 東南東、有義波高 約0.6m</p> <p>特記事項：石巻地域に強風注意報（2月16日05時18分発表、17日17時09分解除）が出されていた。</p>	
その他の事項	<p>操船者は、日ごろ出漁する際に救命胴衣を着用していた。</p> <p>操船者は、平成12年2月に漁業協同組合の準組合員になった。</p> <p>操船者の受有操縦免許を確認できなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>田代島北方の海底で操船者の財布が発見されたことから、本船は強風注意報が出されている状況で田代島北方を航行中、操船者が落水した可能性があると考えられる。</p> <p>操船者が落水したことと、本船が転覆したことの因果関係を明らかにすることはできなかった。</p> <p>操船者は日ごろ救命胴衣を着用していたが、漂流物として救命胴衣が発見されたことから、落水後脱げたのか、当時は着用していなかったのかは不明である。</p>
原因	<p>本事故は、石巻地域に強風注意報が出されている状況下、本船が田代島北方を航行中、操船者が落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>	